



A Mighty River
Amos 5: 24

Let Justice and Peace Flow

Season of Creation 2023

カロンドレットの聖ヨゼフの姉妹

祈りの日誌 2023 年

はじめに

環境的回心を求める霊的な呼びかけに取り組む手段として、この祈りの日誌をぜひご活用ください。この日誌の中には、祈り、短い共同の祈りの儀式、感動を与える言葉、そして皆様に振り返り、考えていただくための質問などが含まれています。この祈りの日誌が、あなたがより深く、より遠く、そして勇敢に、被造物への配慮の呼びかけに創造性をもって応える助けとなることを願っています。



「国連気候変動に関する政府間パネルは、即刻に、一層の緊急性をもって行動すれば、より持続可能で公正な世界を創造するチャンスを逃さずにすむと述べています。そうすれば最悪の事態を防ぐことができますし、私たちはそうしなければならないのです。「本当に、まだまだ私たちにできることはたくさんあります」(同書、180)。私たちが多くの細流、せせらぎや小川のように集まり、大河となって合流すれば、この素晴らしい地球と人類家族の生命を何世代にもわたって灌漑することができるのです。だから私たちは手を取り合い、世界全体に「正義と平和が流れる」よう、大胆な一歩を踏み出そうではありませんか。

教皇フランシスコ、2023 年「被造物を大切に作る世界祈願日」のメッセージ

もったいない

日本語には「もったいない」という言葉があります。これは「無駄にしない、無駄はよくない」というようなことを意味します。日本では最近、1603年から1868年までの江戸時代の日本人のリサイクル意識について、また、私たちが排出する廃棄物とその処理について、現代の日本と全世界が何を学べるかについての関心が再び高まっています。

「江戸は現在の東京の旧名です。江戸時代のほとんどの期間、日本は鎖国状態にあり、外部からの侵略を受けず、他国との交流もほとんどありませんでした。国内では戦争がほとんどなく、おおむね平和な時代であり、日本の経済と文化は目覚ましい発展を遂げた時代でした。」（ジャパン・フォー・サステナビリティ [JFS]のウェブサイトより）

江戸時代、現在の東京にあたるこの地域には約3,000万人が住んでいました。江戸時代の人々は裕福ではありませんでしたが、限られた物資や資源でやりくりしていました。どれも貴重な資源であり、一つの製品として寿命を迎えたものは保存され、修理されて延命されたり、別の製品に生まれ変わったりしました。何も無駄にはなりませんでした。

現在、日本はエネルギー、食料、木材のほとんどを輸入に依存しています。また、埋め立て地への負担、ゴミによる水の汚染、焼却炉からの危

険な有毒化学物質の排出なども懸念されています。

「江戸時代の日本は持続可能な社会の一つのモデルとなり得るでしょう。その持続的な経済と文化の発展の基盤は、現代社会のような利便性を追求した大量生産・大量消費ではなく、限られた資源を最大限に活用することでした。今日、多くのことが変わったのは確かですが、過去を振り返ると、持続可能な未来へのヒントが見つかるかもしれません」

（JFS）

消費者主導の社会では、新しいものが好まれ、計画的な時代遅れなものは良くないとする風潮が受け入れられています。私たちは、資源や、資源の消費が地球に及ぼす影響は、実際には制限がないかのように振る舞っています。江戸時代には専門の商人や職人がたくさんいたのに比べ、現在は鋳掛屋や修理職人などはほとんどいなくなっています。かつては、再利用できる資源があった場合、その資源を使って何かを行うために新しい職人集団が形成されていたのです。

続きを読む

[「江戸時代（1603-1867）における日本の持続可能な社会」](#)、ジャパン・フォー・サステナビリティ





無駄をなくすために

神の被造物に対する浪費と冒瀆がなくなるよう、
実った被造物がすべての人々に平等に分配されるよう、
そして神が与えてくださった大地の実りや水が、
地域社会や各国の人々の糧となるよう
祈りをささげます。

全能の神よ、あなたは世界を創造され、
あなたの御心に従い、全ての人々のために奉仕できるよう
被造物を私たちに委ねました。

被造物の豊かさを知恵をもって用いるよう、
その恵みをすべての人が分かち合えるよう、
そしてあなたの恵みに感謝し、すべての人々に
貧困、飢餓、抑圧から解放される力が授かるよう、
私たちをお導きください。

[ザビエル大学イエズス会リソースより](#)



共同祈願祭

ビデオ

[70億の夢。ひとつの地球。大切に扱いましょう。](#) 国連環境計画より (YouTube)



ラウダート・シの朗読

進路を改めるべきものごとがたくさんありますが、とりわけ変わる必要があるのは、わたしたち人間です。わたしたちには、共通の起源について、相互に属していることについて、そしてあらゆる人々と共有される未来についての自覚が欠けています。この基本的な自覚が、新しい信念、新たな態度とライフスタイルを成長させてくれるでしょう。わたしたちは文化的で霊的で教育的な重要課題に直面しており、再生のための長い道のりに踏み出すようにとの要求をつきつけられています (202)。

黙想のためにポーズする

祈り

ルーテル世界連盟より引用

神よ、生命を支える大地を創造されたあなたを賛美します。日々と季節、再生と成長という惑星のサイクルを通じて、あなたはすべての生き物に丁度良い時に食物を与えるために手を開いておられます。あなたの叡智により、あなたは大地が休むための安息日を与えられました。しかし近頃、私たちの生き方は地球の限界を超えさせています。

一人：慈悲と正義の神よ、土地は生産の重荷から解放され、休息しなければならないとあなたはおっしゃいます。

全員：私たちが、地球が限界を超えなおも生産させることを要求し、それ以上を望むことに執着していることを認識しています。

一人：あなたは、私たちが土地から収穫された物から満たされることを保証してくださいました。

全員：私たちが地球の限界の中で生存していけることを信じていることができるよう導いてください。

一人：あなたは、私たちは「十分」の中に安定を見出すことができると断言されました。

全員：地球に無限の成長の可能性があるという誤った通年に抵抗する勇気がないことを私たちは認めます。

一人：あなたは私たちに公正と正義を求めておられます。

全員：私たちは、心を尽くし、力を尽くし、想いを尽くしてあなたを愛し、人間と人間以外の隣人を自分のように愛し、環境的回心ができるよう取り組みます。

一人：恐怖と不信から私たちを立ち直らせてください、

全員：そしてイエス・キリストの福音によって、地球とすべての被造物と調和の取れた人生を思い描くことができるよう、私たちを解放してください。

「御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の



豊かな庭

庭は多様性に富んでいる、
何百種もの植木や花々が
木と木の間
すべての色と香りを放ちつつ。
バジル、ミント、ラベンダー、
大いなる神秘よ、私の思い出を純粹に保たせ
てください、
ラズベリー、りんご、ローズ
大いなる神秘よ、私の心を愛で満たしてくだ
さい、
ディル、アニス、タンジー、
聖なる風よ、私の中で吹いてください。
シャクナゲ、ジニア、
私の祈りが美しいものでありますように
大いなる神秘よ、私の思い出が
永遠の聖なる木立の中で
汝のために香となれ
私が地球の太古の森の
香りを嗅ぎつつ、思い出しながら。



「食べ物を愛し、尊重す
ることを教えてくれたの
は私の祖母でした。祖母
は私に、何をも無駄にし
てはいけないこと、鶏肉
を隅から隅まで使うこ
と、骨から旨味が出なく
なるまで茹でることを教
えてくれました」。

マーカス・サミュエルソ
ン

Chinook Psalter (チヌークの詩編) より、[イエズス会リソース](#)、[ザビエル大学](#)
を通して



振り返りの質問

神の作品の保護者として、私たちはどのような召命を与えられているのでしょうか？



「地球と貧しい人々の」悲痛な叫びを聞いたわたしたちは、悔い改め、有害なライフスタイルやシステムを変えなければなりません。福音書は最初から「悔い改めよ。天の国は近づいた。」(マタイ 3:2) と呼びかけ、神との新しい関係に招くとともに、他者そして被造物との、これまでとは違う関係にも言及しています。わたしたちの共通の家の荒廃した状態には、深刻な健康危機や武力紛争といった地球規模の他の課題と同じく高い関心を寄せるべきです。

「神の作品の保護者たれ、との召命を生きることは、徳のある生活にはかかせないことであり、キリスト者としての経験にとって任意の、あるいは副次的な要素ではありません」(『ラウダート・シ』 217)。

教皇フランシスコ、「被造物を大切に
にする世界祈願日」2022年のメッセージ